

## 音楽実技課題

### ■ 各専攻共通の注意事項

1. 音楽実技課題曲は、暗譜で演奏すること。ただし、管・打楽器専攻、および副科ピアノの課題曲は、楽譜を見て演奏してもよい。声楽専攻、邦楽器関係については各専攻の指示に従うこと。
2. 課題曲は、繰り返しをすべて省略して演奏すること。ただし、声楽専攻、長唄三味線専攻、長唄専攻、邦楽囃子専攻は除く。なお、場合により一部を省略させることがある。
3. 声楽専攻、およびヴァイオリン専攻の伴奏は、本校試験係員が行う。また、長唄三味線専攻の唄、および長唄専攻と邦楽囃子専攻の伴奏の地は、本校試験係員が行う。その他の専攻実技試験は「伴奏なし」で演奏すること。
4. 専攻の楽器（ピアノ、ハープ、箏、三絃、長唄三味線を除く）は、各自持参すること。
5. 弦楽器の各専攻のうち、ヴィオラ専攻志望者はヴァイオリンで、またコントラバス専攻志望者はチェロで受験することができる。

### ■ 作曲専攻

#### 1. 作曲

- 第1回 与えられたバス、およびソプラノの声部により、それぞれ四声体の和声を作る。
- 第2回 ①ピアノで、与えられた旋律を奏しつつ伴奏をつける。  
②その他、試問を行うことがある。

#### 2. 副科ピアノ

- ①音階：同一の調号による長調と短調。（ただし、シャープ、フラット記号それぞれ4個まで）  
ハノン 第39番（Hanon : No.39）より、調は当日指定する。  
【音階の弾き方】繰り返しを省略。短調の音階は、和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。音階はすべて暗譜で演奏すること。
- ②次の2曲より、いずれか1曲を選択し演奏すること。  
シューベルト：即興曲集 D899 Op.90 より  
(F. Schubert : Impromptu D899 Op.90)  
・第2番 変ホ長調 (Nr.2 Es-dur)  
・第4番 変イ長調 (Nr.4 As-dur)